北部病院だより 第 117 号(2018.3)

Showa University Northern Yokohama Hospital

【巻頭言】医事課
【36 年を経て思うこと】
【定年退職のご挨拶】
【TOPICS】洗足学園音楽大学ロビーコンサート
【医師の配属・異動・退職】
【診療統計】
【患者さんからのご意見・ご要望】
【栄養科だより】
【編集後記】

昭和大学
横浜市北部病院

90th SHOWA University
至誠一貫 Since 1928

巻頭言　医事課

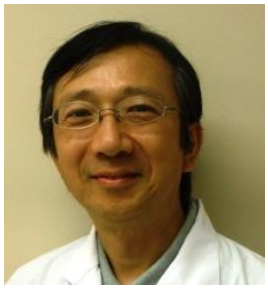
〈医事課〉
鈴木　健司　課長

医事課長の鈴木健司です。私は昭和大学病院医事課 16 年、昭和大学藤が丘病院医事課 6 年、そして昭和大学横浜市北部病院は 3 年目になり、入職から医事課だけで 25 年目になります。医事課には、外来係、入院係、診療録管理係の 3 つの係があり、総勢 22 名で業務を行っております。

主な業務は診療報酬請求業務です。診療報酬とは医療行為の対価として患者さんや保険組合等から受け取る報酬であり、個々の医療行為の報酬額は厚生労働大臣が定めた全国統一価格になります。この診療報酬の請求には様々なルールがあり、そのルールをまとめた本のページ数は約 2,000 ページになります。我々医事課は医師や看護師等が行った医療行為をこの診療報酬のルールに則り、計算し、請求することが主な業務になります。このルールは 2 年に 1 度法改正が行われますが今年は 6 年に 1 度の介護報酬と診療報酬の同時法改正が行われる予定となっています。

厚生労働省は団塊の世代が全て 75 歳以上となる 2025 年に向けて道筋を示す最後の同時法改正と考えており、大幅な変更が予想されます。4 月以降同じ診療内容であっても患者さんの負担額が変更となる場合がありますのでご不明な点がありましたら会計窓口にてお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

～36 年を経て思うこと～



〈呼吸器センター〉
笠原　慶太　教授

昭和 57 年に昭和大学を卒業してから、36 年の月日が流れました。昭和大学病院第一内科、（旧）昭和大学附属豊洲病院内科、昭和大学横浜市北部病院呼吸器センターと 2 年間の留学以外は昭和大学内のみで、医師として研修をさせていただきました。他大学と比較して昭和大学の気質としてソフトで優しい方が多く、皆様に丁寧に接していただき感謝の念に絶えません。

私が新人であった 30 数年前は、教授はカリスマ的存在でお話をする時は恐れ多く、直立不動であった事を覚えています。教授の知識の深さ、広さは私にとっては驚くべきことで、とてもこの域には将来達する事は出来ないと思われました。時を経て、残念ながら当時の教授の域には達することは出来ず、そのためもあってか、私と直立不動で話す新人医師も見る事はありません。良い意味では上下の垣根が低くなったと思いますが、医学の勉強する領域が 30 年前に比較して著しく広く、深くなり、専門分野でも全てを会得する事は教授といえども難しくなっています。また、若い先生でも、ある分野では教授の知識を凌駕する場合もあると思われます。それゆえ、症例検討カンファレンス、勉強会により知識を共有する事が、重要であると強く認識されます。さらに、上級医師は若い先生がいかにしたらすくすくと伸びていけるか、話し合いの場で意見を取り入れ環境を整えてあげるのが最も重要な仕事であると感じています。

今回、この様な機会を与えていただき、最近思う所を記させていただきました。36 年間どうもありがとうございました。今後の皆様の御活躍をお祈りしております。

～定年退職のご挨拶～

〈整形外科〉
中村　正則　教授

まずはお世話になった北部病院の先生方，協力していただいたメディカルスタッフの方々に心より感謝いたします。「本当にありがとうございました。」

私は昭和 59 年（1984 年）に昭和大学医学部整形外科学教室に入局し、その後数か所の関連病院で臨床経験を積み、平成 3 年（1991 年）から 18 年間大学病院に、平成 21 年（2009 年）から現在まで 9 年間北部病院に勤務いたしました。北部病院就任当初、後輩の医局員たちから、診療は自分達がやるので監督をして欲しいと私を盛り立ててくれました。その熱意と行動力と団結力には今でも感動しています。（今は時間外勤務が多すぎると注意勧告を受けていますが。笑）

今後も若い先生には臆することなく、沢山の手術をやってほしいと思っています。

私は 4 月から大学病院近くの戸越銀座で開業いたします。今までは中核病院という立場で地域の先生方と関わってきましたが、今度は逆に地域医療側から大学病院と関わっていくことになります。昭和大学での経験を活かし、医療に携わりたいと思っています。戸越銀座に来られた時には、是非お立ち寄りください。

最後に北部病院の益々の繁栄とスタッフの方々のご健勝とご多幸をお祈りいたします。再度、「本当にありがとうございました。」

TOPICS 洗足学園音楽大学ロビーコンサート

平成 30 年 2 月 20 日（火）19 時より 1 階会計前にてロビーコンサート行いました。

今回は、初めてご出演いただきます「洗足学園音楽大学」の皆さんによるピアノやフルートを始め、バイオリンなど様々な楽器のセッションによるメドレー演奏などでした。

学校法人洗足学園（神奈川県川崎市高津区）とは、平成 29 年 2 月に学校法人昭和大学（東京都品川区）が【両大学の特色を活かした連携により、教育・研究・診療・芸術・保育の分野における充実と発展】を目指し包括連携協定を締結しました。その関連事業の第 1 回目として、先日は東京都江東区にある昭和大学江東豊洲病院にてロビーコンサートにご出演いただき、今回は第 2 回目となる当院でのロビーコンサートへのご出演でした。様々な楽器が奏でる綺麗で素晴らしい音色・ハーモニーに、ご来場された方たちも、目が釘付けになりました。「さすが音楽大学の学生さん」という素晴らしく圧巻の演奏でした。

洗足学園音楽大学の皆さんには、今後もぜひご出演いただきたいと思います。

なお、次回のロビーコンサートの開催日は 3 月 27 日（火）の開催です。皆さんお誘い合わせの上お越しください。

〈管理課　神田　洋輔〉

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

【附属施設より】

・城内　和史	（皮膚科）	大学病院	皮膚科より	3 月 1 日付
・山本　咲	（内科）	大学病院	糖尿病・代謝・内分泌内科より	3 月 1 日付

【学外研修戻り】

・高橋　健一	（麻酔科）	3 月 31 日付
・五十嵐　健太	（消化器センター）	3 月 31 日付
・桜井　達也	（消化器センター）	3 月 31 日付
・松本　航	（消化器センター）	3 月 31 日付
・趙　智成	（消化器センター）	3 月 31 日付
・佐藤　雄太	（消化器センター）	3 月 31 日付
・加藤　一樹	（消化器センター）	3 月 31 日付
・鈴木　謙一	（消化器センター）	3 月 31 日付
・木村ジェニファ-由比	（消化器センター）	3 月 31 日付

異動・退職医師

【附属施設へ】

・濵田　和幸	（内科）	大学病院	腫瘍内科へ	3 月 1 日付

【退職】

・国村　利明	（臨床病理診断科）	
・逸見　範幸	（整形外科）	3 月 31 日付
・石井　源	（呼吸器センター）	3 月 31 日付
・蘆原　洋輔	（呼吸器センター）	3 月 31 日付
・幾瀬　大介	（メンタルケアセンター）	3 月 31 日付
・菊池　優	（メンタルケアセンター）	3 月 31 日付
・星野　靖二	（メンタルケアセンター）	3 月 31 日付
・大内　宏美	（メンタルケアセンター）	3 月 31 日付
・児山　久美子	（放射線科）	3 月 31 日付
・飯田　美紀	（皮膚科）	3 月 31 日付

診療統計

前年同月比　（ ）内は 1 日平均

診療実日数 2017 年 1 月（入院：31 日・外来：23 日）、2018 年 1 月（入院：31 日・外来：23 日）

	入院患者数	外来患者数	救急搬送数	手術件数
2017 年 1 月	18,257 人(588.9 人)	26,349 人(1,145.6 人)	484 件(15.6 件)	711 件(37.4 件)
2018 年 1 月	18,106 人(584.1 人)	25,352 人(1,102.3 人)	511 件(18.4 件)	673 件(35.4 件)

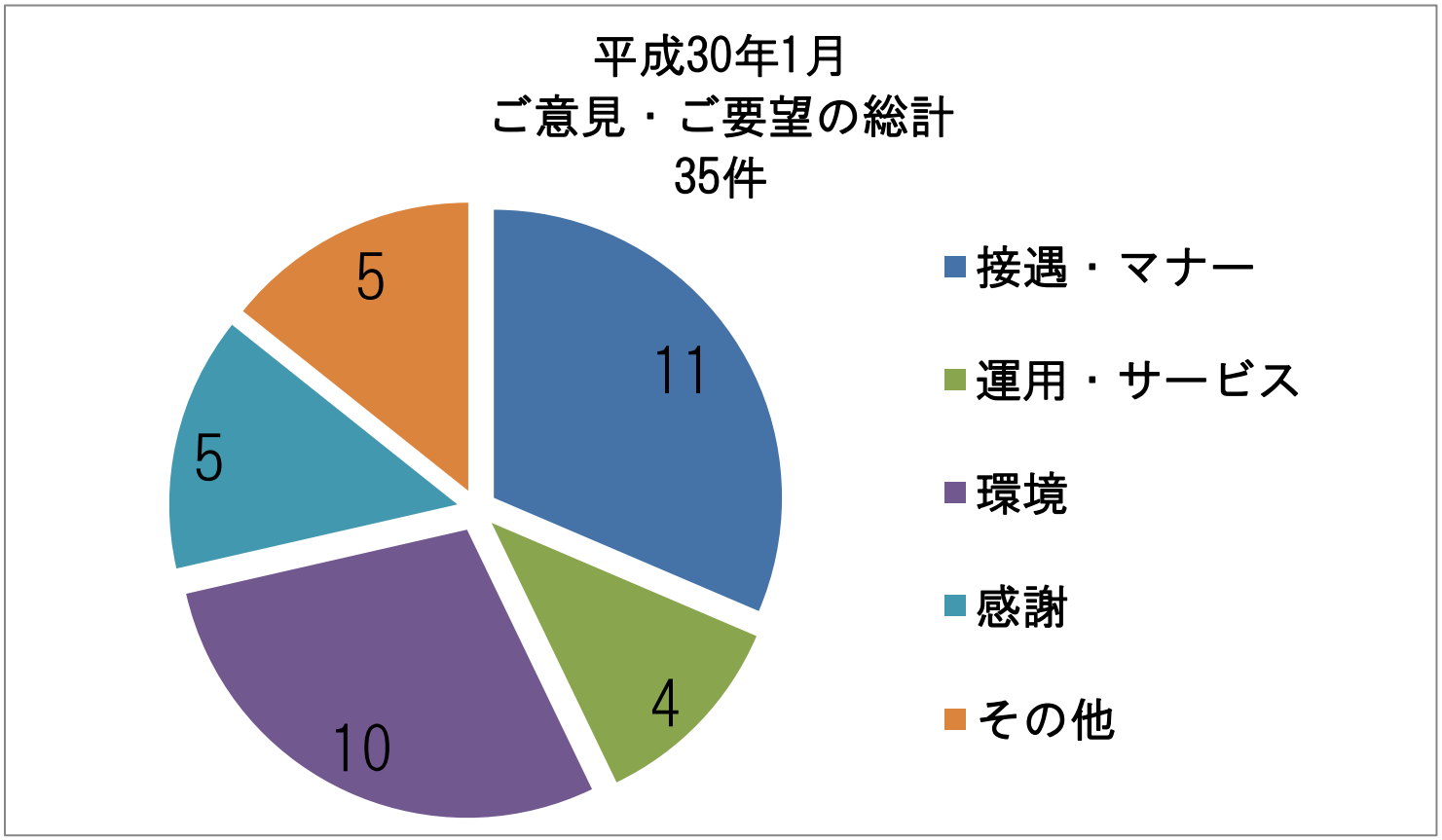
患者さんからのご意見・ご要望

日々患者さんよりいただきましたご意見･ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見･ご要望を中心に改善策を掲載させていただきました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
＜接遇・マナーについて＞ エスカレーター上の追い抜きは危険です。医療従事者やスタッフが平気で人を追い越していきます。 もし、患者とぶつかるようなことがあれば大惨事です。その前に注意喚起すべきではないでしょうか。 他 10 件	ご迷惑をおかけいたしまして申し訳ありません。 エスカレーターの利用について、マナーなどスタッフへ注意喚起していきます。 貴重なご意見をありがとうございました。
＜感謝について＞ 初めて「コードブルー」のアナウンスを聞きました。その瞬間にスタッフの皆さんがすごい勢いで飛び出してきて、アナウンスのあった場所へ走っていくのを見ました。こうした普段から行動できる体制で私たちは助けられています。心からありがとうを伝えたくて書かせていただきました。かっこよかったです。これからも頑張って下さい。 他 4 件	お褒めのお言葉ありがとうございます。 病院で働いているスタッフは職種を問わず、コードブルーなど患者さんが困っている場合などすぐに駆けつけ、患者さんのケアや処置を行っております。 これからもスタッフ一同協力していきたいと思います。



栄養科だより　３月行事食について

３月３日の夕食ではひなまつりの行事献立を提供いたします。

常食では、ちらし寿司をメインにいたします。他にも季節感を感じていただこうと、菜の花の小鉢をご用意いたします。汁物は春らしく、三つ葉と花麩のすまし汁です。甘味にはひなあられをご用意いたします。ひなあられの三色の色には意味があり、桃色は生命のエネルギー、緑には木のエネルギー、白には大地のエネルギーが宿るとされています。これらを食べることで自然のエネルギーを得て、元気に過ごせるようにという願いがこめられているそうです。

ひな祭りは日本では女の子の良縁を願う行事ともされていますが、起源は家族の無病息災を願う行事だそうです。これから春に向かい暖かくなっていきます。皆様の一日も早いご快復を心よりお祈り申し上げます。

〈栄養科　星川　麻美〉

編集後記

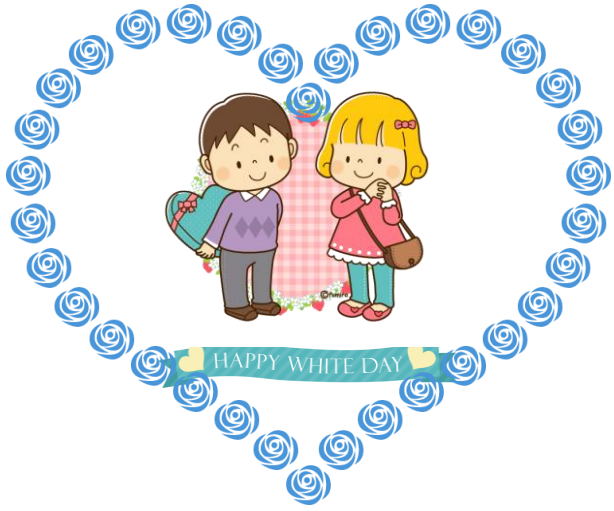
３月は旧暦では「弥生」です。弥生の由来は「草木がいよいよ生い茂る月」が詰まって「やよひ」となった説が有力だそうです。そのため、俳句やお手紙などで用いられる「季語」も草木や花など植物に関係するものが多いそうです。

体の不調や心の不安があると、つい人は下を向いて歩きがちです。外を歩いていて疲労を感じたら、立ち止まり体を休めて少しだけ顔を上げてみて下さい。

きっと、草木の芽吹きに出会えることでしょう。そして、その新たな生命力が皆様の「次の一歩」を踏み出すお手伝いをしてくれるのではないでしょうか。

春の季節は寒暖の差も激しい時期です。家を出られる時には暖かくとも、気温の変化に対応できる準備をされた上でお出かけください。

〈8A 病棟　坂内　めぐみ〉



北部病院だより　第 117 号
平成 30 年 3 月 1 日発行
発行責任者　門倉　光隆（昭和大学横浜市北部病院長）
編集責任者　緒方　浩顕（広報委員会 委員長）
発行　地域中核病院　昭和大学横浜市北部病院
〒224-8503　横浜市都筑区茅ケ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)
URL：http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。